

## 外部評価報告書

平成28年度 中央区立晴海中学校 外部評価報告書	
外部評価委員：富永 紀子 清水 大蔵 若狭 栄一 滝浪 誠 石田 敦浩 木皿儀孝子 西 啓三 小野内雄三 庄司 一也 松永 智仁	報告書作成者：大江近
評価時期	平成29年3月
<b>1 重点目標の評価</b>	
<b>重点目標1「基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、学習意欲を高め、確かな学力の定着を目指す。」について</b>	
評価項目（シラバスの充実と活用、教師の指導力向上、個に応じた指導の工夫と場の設定）	
基礎学力の定着に向けて、学習力サポートテスト、生徒の授業評価に基づく授業改善プラン作成等が効果的に実践されている。また個に応じた指導の場として、少人数指導、朝学習、夏季補充教室、放課後補習教室などの学習環境が準備され、生徒にとって学習機会が充実されていることが理解できる。特に全教科に共通した授業に向かう教師の姿勢として作成された「晴海中ミニマム」は、「授業の開始と終了」「板書」「授業の進行」の項目別に、授業者として最低限必要なことが明確にまとめられており他校の参考となる。	
<b>重点目標2「表現力の向上を図り、学んだことを学習や生活に活かす。」について</b>	
評価項目（表現力の向上を図る教科指導、様々な表現活動の場の設定と適切な支援）	
全ての教科において言語活動を中心とする表現力を高める指導が進められている。また教科授業以外の諸活動においても自己表現力を高める指導が実施されており、教職員の自己評価や保護者アンケート、生徒アンケートの結果からも成果を確認することができる。	
さらに授業工夫においても「主体的、対話的で深い学び」「ICT機器の活用」「特別支援教育」「グローバル教育」など新しい教育課題を踏まえたものであり評価できる。今後は、より一層、新学習指導要領の趣旨を踏まえた先行的な研究実践を期待したい。	
<b>重点目標3「学習環境を整え、心のふれあいを通して活気にあふれ、豊かな心と健やかな心身をはぐくみ、『共生』、『博愛』の精神を育てる。」について</b>	
評価項目（学校生活の基盤となる環境の整備、人権教育の推進、生徒理解と適切な支援、健康管理及び体力の向上）	
オリンピック・パラリンピック教育の趣旨を踏まえた教育が展開されており、通級学級との交流への取組み、本校独自のオリンピック・パラリンピック学習資料の作成など具体的な取組みが効果的に進められている。一層の充実を期待したい。	
<b>2 今後の改善に向けた意見</b>	
学校評議員会・外部評価委員会での学校説明が適切であり、今後は報告にとどまらず直面している教育課題を議論するなど「社会総がかりの教育」実現に期待したい。	
<b>3 その他の意見</b>	
評議員会は「開かれた学校」そのものである、今後も情報公開の継続を期待する。	